
CloudyⅢ SRV
Cloudy DP
Windows Server 2016 / RHEL
ドライバーパッケージについて

第 1.1 版
2018/09/12



変更履歴

版数	日付	内容
1.0	2018/01/20	初版作成
1.1	2018/09/12	Newtech ミラーモニター更新

はじめに

本書に含まれる内容は予告なく変更される場合があります。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品の適合性、暗黙の保証、運用における損害、及び、本書の使用に関連した損害について責任を負いかねます。また、本製品は、日本国外、軍事目的、原子力設備で使用されないことを前提としております。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品へ記録されたデータについて、その消失・誤記録における責任を負いかねます。

(データのバックアップは、システム管理者の責任において実施が必要です。)

本書は、著作権によって保護された情報を含んでおり、本書のいかなる部分も、株式会社ニューテックの書面による許可の無いまま、コピー、再版、他言語への翻訳を行ってはいけません。

株式会社ニューテック
〒105-0013
東京都港区浜松町2丁目7-19 KDX 浜松町ビル
<http://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2018, Newtech Co., Ltd. All rights reserved.

本書利用者の前提条件

本書は、コンピュータ装置の運用管理技術を有し、本書に記載された製品を利用するための、コンピュータ OS(基本ソフト)のインストール及びシステム変更の知識、及び、安全な運用や発生する問題を解決できる人を前提としています。

目次

はじめに	3
本書利用者の前提条件	3
目次	4
1. CLOUDYⅢ SRV ドライバパッケージについて	5
2. このパッケージに含まれるファイル	6
2-1. RHEL 用ドライバ	6
2-2. WINDOWS SERVER 2016 用ドライバ	7
3. WINDOWS 自動アップデート設定について	8
3-1. 手動アップデート	8
3-1-1. スタンドアロンインストーラで手動アップデートを行う	8
3-1-2. 自動アップデートを行わない設定のまま、オンライン手動アップデートを行う	9
3-2. 自動アップデートを行う設定にする	10
3-3. 自動アップデートを行わない設定にする	10

1. CloudyⅢ SRV ドライバパッケージについて

この文書はニューテック製 CloudyⅢ SRV/W16、/RHEL で使用するデバイスドライバーパッケージについての情報提供を行います。

対象機種

CloudyⅢ-SRV	1U 4bay
	1U 8bay
	2U 12bay
	2U 24bay
	4U 35bay
Cloudy DP	4U / Tower 8bay

対象 OS

Microsoft 社	Windows Server 2016
redhat 社	Red Hat Enterprise Linux Server (以下 RHEL)

他の製品への適用により発生するいかなる動作上の不具合、障害、損害に対して当社はその責を負わず、補償を行いません。

2. このパッケージに含まれるファイル

2-1. RHEL 用ドライバ

RHEL/

MegaRAID_linux_driver/

MR_LINUX_DRIVER_7.4-07.704.04.00-1.tgz

データ用 RAID コントローラデバイスドライバ
(適用を推奨)

データ用 RAID コントローラは OS ビルドインドライバで認識されますが、適用（更新）を推奨します。

mirror_monitor_Linux/

numm-1.17.2/

linux_tool_event-list.txt

Mirror Utility Tool User's Manual _Linux_ v1.14

numm-1.17.2-0.el6.i686.rpm

numm-1.17.2-0.el6.x86_64.rpm

numm-1.17.2-0.el7.centos.x86_64.rpm

(適用を推奨)

Quick Install.txt

OS 用ミラーコントローラモニタ

CloudyⅢ-SRV では OS インストール領域としてニューテック製ミラーコントローラを使用しています。(1U モデルを除く、2U、4U モデルで使用) ミラーコントローラのステータス確認、操作を行う rpm となり、適用を推奨します。

MSM/

17.05.00.02_Linux-32_MSM.gz

17.05.00.02_Linux-64_MSM.gz

17.05.00.02_Windows_MSM.txt

17.05.00.02_Windows_MSM.zip

データ用 RAID コントローラ設定ツール

(適用を推奨)

データ用 RAID コントローラの管理ツールですので、適用を推奨します。Web ブラウザでアクセスする形態ですので、サーバー内部での操作のほか、クライアント PC (Windows/Linux) からの操作が可能です。

StorCLI/

1.23.02_StorCLI.txt

1.23.02_StorCLI.zip

データ用 RAID コントローラ設定ツール

2-2.Windows Server 2016 用ドライバ**Windows Server 2016¥****MegaRAID WindowsDriver¥**

MR_WINDOWS_DRIVER_6.14-6.714.05.00-WHQL.zip データ用 RAID コントローラーデバイスドライバ
(適用を推奨)

データ用 RAID コントローラーは OS ビルドインドライバで認識されますが、適用（更新）を推奨します。

Mirror Mail¥

Newtech.zip

OS 用ミラーコントローラーメール通知

(適用を推奨)

NTC Mirror Monitor Send Mail Script - Cloudy II with Inchbox - Bolero2.pdf

Mirror Monitor¥

OS 用ミラーコントローラーモニター

NTCMirrorMonitor_releasenote_20160826.pdf

NTCMirrorMonitor_setup_v1.5.5.100.exe

(適用を推奨)

NTCMirrorMonitor_UsersManual_Jp_v2_1.doc

CloudyⅢ-SRV では OS インストール領域としてニューテック製ミラーコントローラーを使用しています。(1U モデルを除く、2U, 4U モデルで使用) ミラーコントローラーのステータス確認、操作を行うツールとなり、適用を推奨します。Windows 環境では警報メールを発報することが可能です。

Motherboard Driver¥

マザーボード上デバイスドライバ

Aspeed AST2400-2500 Graphic - v1.03.zip

(適用を推奨)

Intel C612 - Chipset_v10.1.2.80.zip

(適用が必須)

Intel LAN driver - PRO_v22.7.zip

(適用を推奨)

Windows Server 2016 インストール直後状態では Xeon E5 v4 を搭載した状態の C612 チップセットにデバイスドライバが適用されません。チップセットドライバの適用は必須となります。

グラフィックスは OS ビルドインドライバでも認識されますが、機能が制限されますので、ドライバ適用を推奨します。

MSM¥

データ用 RAID コントローラー設定ツール

17.05.00.02_Linux-32_MSM.gz

17.05.00.02_Linux-64_MSM.gz

17.05.00.02_Windows_MSM.txt

17.05.00.02_Windows_MSM.zip

(適用を推奨)

データ用 RAID コントローラーの管理ツールで、適用を推奨します。Web ブラウザでアクセスする形態ですので、サーバー内部での操作のほか、クライアント PC (Windows/Linux) からの操作が可能です。

StorCLI¥

データ用 RAID コントローラー設定ツール

1.23.02_StorCLI.txt

1.23.02_StorCLI.zip

ログ取得スクリプト¥

Windows ログ収集スクリプト

getinfo.ps1

ログ収集スクリプト NAS-SRV_v2.1.pdf

Windows Server 2016 およびデータ用 RAID コントローラーの情報を一括取得します

自動更新禁止・許可¥

Windows 自動アップデート許可・禁止

AutoUpdateInhibitPolicy.reg

DefaultAutoupPolicy.reg

3. Windows 自動アップデート設定について

サーバー用途 Windows 搭載機において、アップデートの自動適用に伴う予定外の再起動、アップデート適用により偶発的に発生し得る予期せぬ障害を回避するために、サーバー運用方法としてよくみられる手法として、「Microsoft がアップデート配布後、一定期間適用を保留し、障害発生情報有無を判断した上で再起動可能なスケジュールで運用管理者がアップデートを行う」ものがあります。本ドライバーパッケージには Windows Server 2016 で自動アップデート機能を切り替えるためのレジストリ情報を含んでいます。

⚠注意

自動アップデートを行わない状態にした場合、アップデートを行わなくてもセキュリティ上、動作上の問題が発生しないことを保障するものではありません。適宜公表される Windows のアップデート情報に対し、お客様にて適用の要あり・なしをご判断いただき、必要なものについては実施いただく事をお勧めいたします。

3-1. 手動アップデート

手動アップデート方法としては、Microsoft が配布するアップデートのスタンドアロンインストーラを入手し、インストールする方法と、Windows の設定パネルからアップデートを実行させる方法があります。

3-1-1. スタンドアロンインストーラで手動アップデートを行う

自動アップデートを行わない設定のまま、スタンドアロンインストーラによるオフラインアップデートを行う場合、あらかじめインストーラを入手する必要があります。

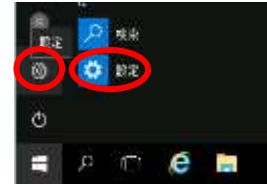
インストーラの入手方法につきましては、マイクロソフト社サイト <http://www.catalog.update.microsoft.com/home.aspx> にて KB 番号を入力し、表示されるダウンロードリンクからダウンロードをお願いいたします。



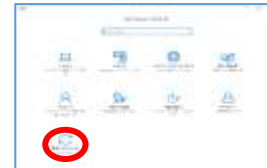
3-1-2. 自動アップデートを行わない設定のまま、オンライン手動アップデートを行う

オンライン手動アップデートを行う場合、以下の手順で実行します

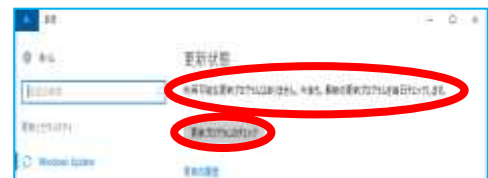
1. スタートメニューを開き、「設定」を選択します。電源ボタンの上のアイコンでも、右側のアイコンでも構いません。



2. 「更新とセキュリティ」をダブルクリックします。



3. 更新状態レポートとして、「利用可能な更新プログラムはありません。今後も、最新の更新プログラムを毎日チェックします。」との表示がされます。



4. [更新プログラムのチェック] ボタンを押し、更新プログラムの確認を行わせます。この際、有効なインターネット接続環境が必要となります。

⚠注意

自動アップデートを行わない状態ではインターネットに接続できる環境下にあっても、Windows は更新プログラムの有無を常時確認しません。そのため、上記の「利用可能な更新プログラムはありません」表示は、機材状況が最新にあることを意味するものではありません。

5. アップデートが見つかったらダウンロードとインストールを行います。



6. アップデート後に再起動が必要な場合、その旨の表示がされます。

⚠注意

上記の手動アップデートを行われた後も、自動アップデートは有効になりません。都度、同じ要領で手動アップデートを行ってください。

3-2. 自動アップデートを行う設定にする

以下2つのレジストリ情報を使うことで、自動アップデートの無効化、有効化が行えます。

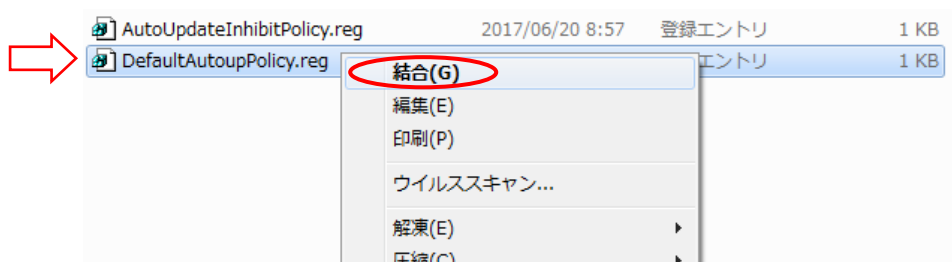
AutoUpdateInhibitPolicy.reg : 自動アップデート無効設定

DefaultAutoupPolicy.reg : 自動アップデート有効設定

自動アップデートを有効化する場合、DefaultAutoupPolicy.reg を使用します。

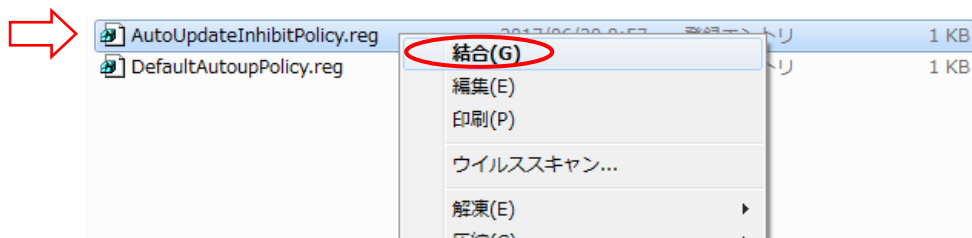
レジストリ情報ファイルを選択し、右クリックでメニューを表示させ、「結合」を選択してください。

Windows の再起動が必要です。



3-3. 自動アップデートを行わない設定にする

自動アップデートを無効にしたい場合、AutoUpdateInhibitPolicy.reg を結合し、Windows の再起動を行ってください。



株式会社ニューテック
〒105-0013
東京都港区浜松町 2 丁目 7-19 KDX 浜松町ビル
<http://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2018, Newtech Co., Ltd. All rights reserved.